

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 9 月 22 日 (2023.9.22)

【公開番号】 特開 2022-47599 (P2022-47599A)
【公開日】 令和 4 年 3 月 25 日 (2022.3.25)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-053
【出願番号】 特願 2020-153464 (P2020-153464)
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/52 (2023.01)
G 0 3 B 17/56 (2021.01)
G 0 3 B 37/00 (2021.01)
G 0 3 B 15/00 (2021.01)
G 0 3 B 17/08 (2021.01)
G 0 3 B 17/02 (2021.01)
H 0 4 N 23/60 (2023.01)
H 0 4 N 23/51 (2023.01)
B 0 8 B 1/00 (2006.01)

10

【F I】

H 0 4 N 5/225430
G 0 3 B 17/56 A
G 0 3 B 37/00 A
G 0 3 B 15/00 P
G 0 3 B 17/08
G 0 3 B 17/02
G 0 3 B 15/00 W
G 0 3 B 17/56 H
H 0 4 N 5/232300
H 0 4 N 5/225200
B 0 8 B 1/00

20

30

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 9 月 13 日 (2023.9.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0006
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明の物品保護クリーニング装置は、
透明部を備え、物品を収容する筐体と、
前記筐体を清掃可能な清掃部と、を有し、
前記筐体が前記筐体の周方向に前記物品とは独立して回転することにより、前記筐体が
前記清掃部により清掃される。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

50

【請求項 1】

透明部を備え、物品を収容する筐体と、
前記筐体を清掃可能な清掃部と、を有し、
前記筐体が前記筐体の周方向に前記物品とは独立して回転することにより、前記筐体が
前記清掃部により清掃される、
物品保護クリーニング装置。

【請求項 2】

前記筐体を前記筐体の周方向に前記物品とは独立して回転可能に支持する腕部と、
前記腕部を取り付けられたベース部と、を備え、
前記清掃部は、前記ベース部に取り付けられている、
請求項 1 に記載の物品保護クリーニング装置。

10

【請求項 3】

前記清掃部は、略 V 字状または略 U 字状に配置されている、
請求項 1 または 2 に記載の物品保護クリーニング装置。

【請求項 4】

前記筐体は、一方向にのみ回転する、
請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の物品保護クリーニング装置。

【請求項 5】

前記筐体は、略球体または略円柱状である、
請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の物品保護クリーニング装置。

20

【請求項 6】

汚れセンサを備え、
前記汚れセンサが前記透明部に汚れを検知したときに、前記筐体が前記筐体の周方向に
回転する、
請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の物品保護クリーニング装置。

【請求項 7】

前記筐体は、風力によって回転する、
請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の物品保護クリーニング装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の物品保護クリーニング装置と、
前記物品保護クリーニング装置に収容され、前記透明部を介して画像を撮像する撮像部
と、
前記画像を送受信する送受信ユニットと、
を備える、
撮像システム。

30

40

50